

森りょうじ リポート。(68号)

～ 皆さんと一緒に、森も動く。～

■ 市内でのパスポート発給は来年から！

“地方と国は対等の関係”…1993年の国会での決議以来、私の政治理念は地方は国と同等の立場であるべきとして“地方分権・地域主権”を訴えてきました。

その一歩目として市町村からも県や国を動かすべきという理念で「パスポート(旅券)発給事務の権限移譲」を訴えてきたところ、来年5月頃(予定)からの実施が見込まれています。引き続きご期待下さい！

■ 議員定数2名の削減案は否決。

3月議会の最終日、所属会派・流政会より現在の議員定数を2名削減し26名にする提案を行いました、最終的に10対16で否決されました。

議会基本条例第25条「市民の意向を把握し、本市の実情に合った定数を検討する」の規定に基づいて、意見交換会やアンケートを通じて積極的に市民の方の意向をお聞きしてきました。大切なテーマとして今後も皆様のご意見もお聞きしていきたいと思えます。

■ 最近の陳情・相談(12～3月)※一例です。

- ① 動物愛護活動のサポート(グループ設立へ！)
- ② 市内への企業誘致に関する相談
- ③ 児童・生徒に対する学習サポート体制の相談
- ④ 地域ごみ回収に関する課題…ほか多数

○1976年6月12日流山生まれ(37歳)

※サラリーマン家庭(父はNTTに勤務)で育つ
流山市立新川小、流山市立北部中卒業
日本大学第一高校、武蔵大学経済学部卒業

○2000年4月 大成建設株式会社に入社

○2003年4月 流山市議会議員に初当選(2,692票)

○2007年4月 千葉県議会選挙に挑戦(次点)

○2007年6月 シンクタンク東京財団政策研究員(2年間)

※世界や日本の地方政治・地方自治を研究

○2011年4月 流山市議会議員当選(二期目)

※市政史上の最高得票4,508票をいただきトップ当選

※政治理念はケネディ大統領の「国が何をしてくれるかではなく、自分が国のために何ができるか」。

趣味：政治(人と語る・駅頭)・読書・コミュニケーション

体型：身長160.5cm・体重53.0kg

後援会事務所：流山市中野久木559-2

討議資料

森りょうじ

森が動く。



流山市議会議員

皆様から議席をお預かりして丸3年が経ちました。この間、沢山のお声に耳を傾けながら地域の発展、課題解決の為に、皆様と一緒に汗を流してきました。

一年後には4年間の集大成となる選挙を迎えます。議員定数の議論でも争点になりましたが、選挙が政策論議・実績評価の審判の場になるよう、まずは政治家自身がそのことを念頭にすべきものだと感じています。

H26第1回ダイジェスト

2/20～3/24の会期日程で33議案を審議しました。また今議会は平成26年度予算を審査する特別委員会が設置されました。昨年は小中学校併設校や総合体育館建替え工事などの大規模事業がありましたが、今年度は消費増税に関する増収増が見込める半面、民生費（福祉関連）の増大が顕著に表れ、結果として過去最高額となる502億8,900万円（前年度498.5億円）となりました。街の成長と合わせて様々な課題を財政面からも感じとることが出来ます。

一般質問①

【小さな命を守る社会を。】

ペットや小動物は欠かすことの出来ない家族の一員として、多くの方が飼われています。

（下図参照）

一方、マナーの悪さなどから近隣とのトラブルとなるケースも目立っています。当市では糞尿対策の一環として罰金を科す条例を設け対策を講じています。また国では今年の動物愛護法改正によりペットを飼う方の重責化が図られましたが、それらを踏まえ、現在市で抱えるペット関連の課題を確認しました。

環境部長は飼い主のマナーに関する苦情の他、動物愛護センターへの持ち込みが後を絶たないといった内容の答弁でした。

動物殺処分ゼロ社会へ

関連して動物愛護について質問。近年は減少傾向と言われるペットの処分数（年間で約17万頭）ですが、現在の市の状況について確認をしました。答弁では昨年は市内で65頭の処分手例があったとのことでした。今後は殺処分ゼロの社会を目指し、市民団体などと連携をしていきたいとのことでした。真の共生社会を目指していきたいと思えます。

WebSite「森りょうじ」を検索！
またTwitter・Facebookも更新中！

※ポスティングスタッフ募集中！この会報は森本人とボランティア皆様のご協力により配布されています。（業者使用一切なし）

一般質問②

【産業振興部の足跡】

幹部2名の同時退職による影響は？

8年間同部署に在職した産業振興部長とナンバー2の商工課長が3月末に同時退職をしました。対外的な人事交流も盛んな部署であるだけに幹部職員の同時退職による影響や「施策の継続性」について質問しました。

現部長は産業振興基本条例制定（H19）や商工会議所への移行（H22）、流山本町活性化に向けた取り組み、また農業生産法人の立ち上げなどを実現し、当市の産業振興に大きな功績を残しました。一方で農業や商業分野で様々な課題を残したとの答弁もありました。

市長からは「後任者には適材適所の人事配置を行い、施策の継続性に配慮していきたい」との答弁がありました。市の産業振興策を担っている部署だけに今後も注視をしていきます。

経済圏を軸とした広域連携を

また過去に質問をした事業の進捗状況を確認致しました。その一つが、地域金融機関と行政の連携です。

質問後、全国では金融機関と行政が連携をし、地域経済調査や産業活性化に向けた共同研究事業を行い、地域経済の活性化

に向けた取り組みが動き始めています。

私が考えるビジョンの一つとして、一つの自治体の枠を超えて連携し、事務を行う制度（広域行政と言います）を進化させ、経済圏単位による広域行政圏を作り、広域的な視点による行財政改革の推進、また他の大都市に負けない経済政策や産業政策を打ち出すことで、千葉県北西部（東葛地域）としての持続的成長を目指していきたいと思っています。答弁を聞いた限りでは大きな進展が確認できなかったため、今後も継続的に質していきたいと思えます。

【連絡先】TEL & FAX:7155-3236
Mail:ryoji612@peach.ocn.ne.jp

